

トラップ着脱式ストール小便器

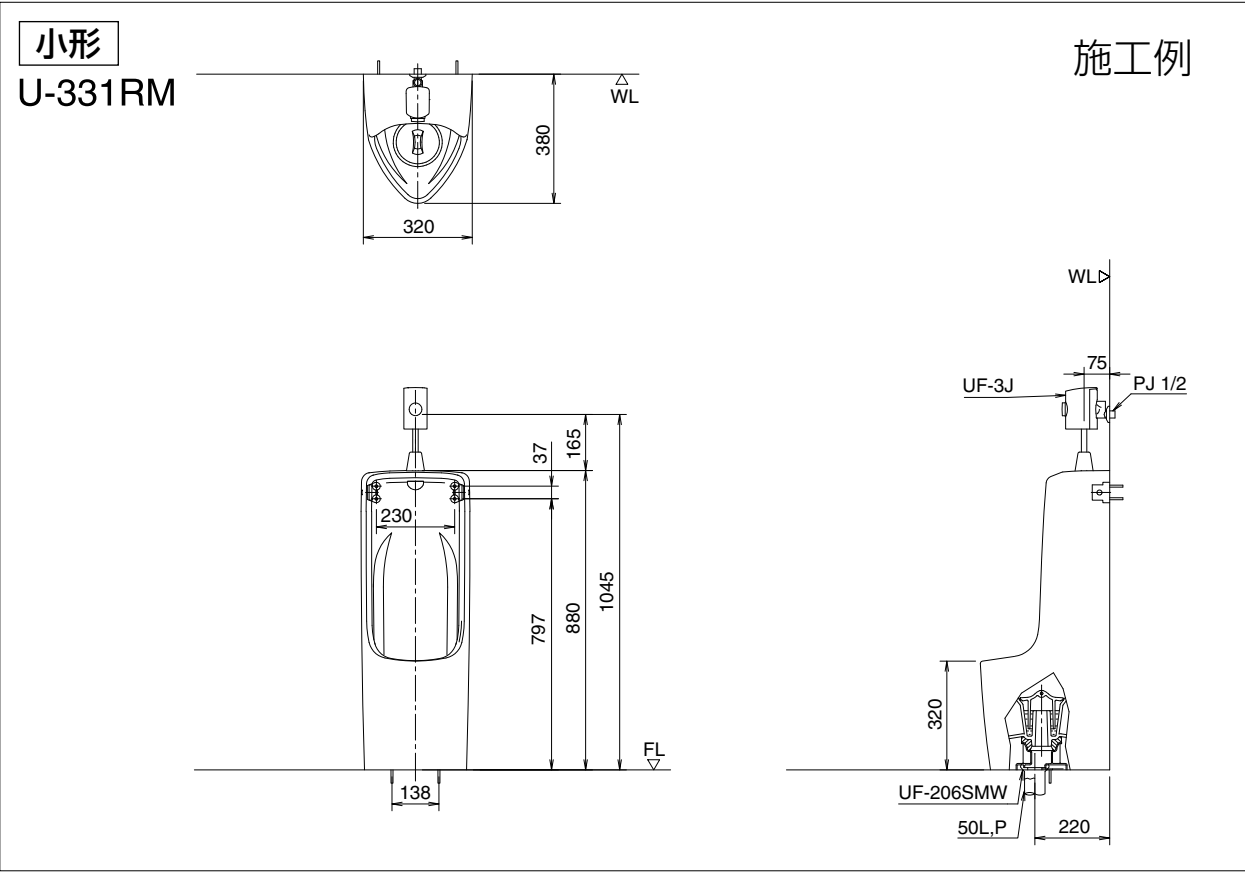
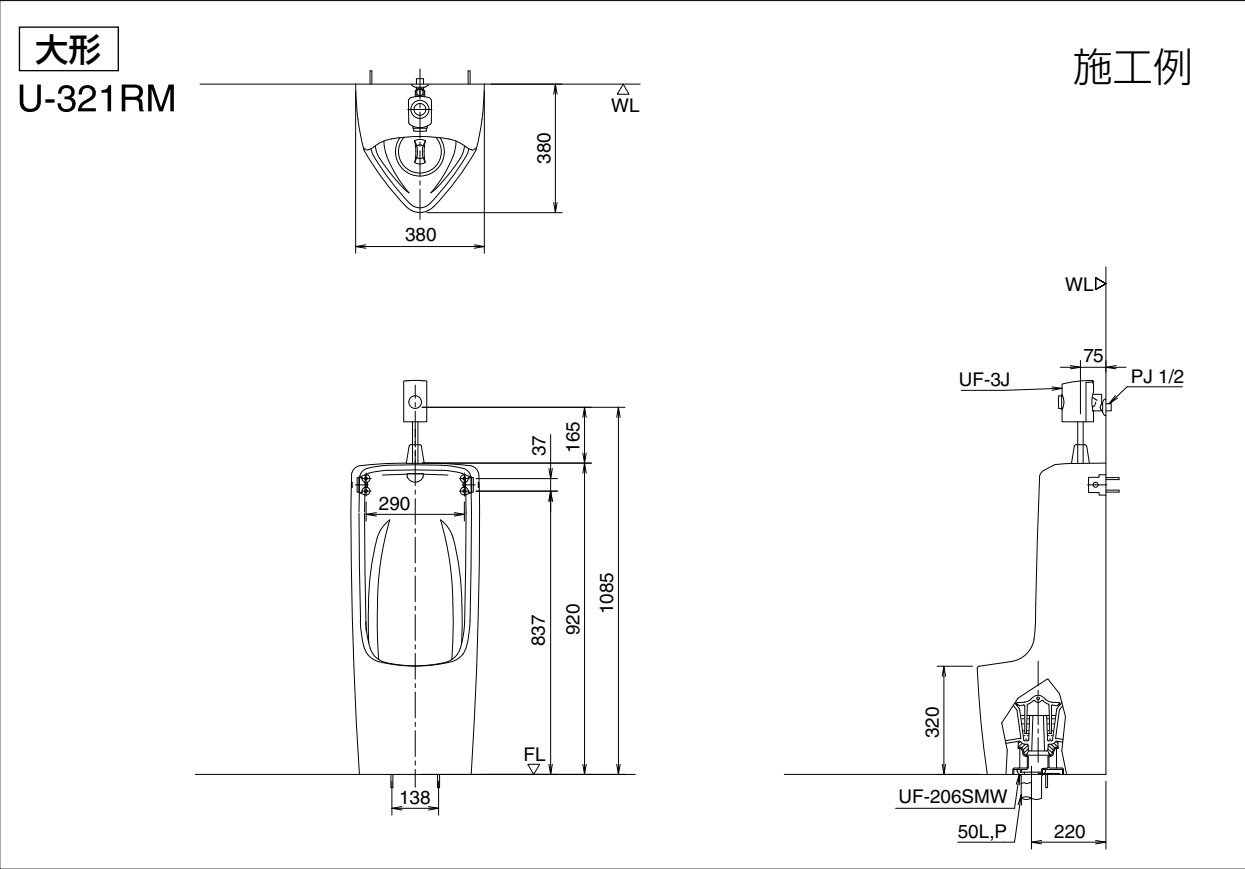
大形
小形



このQRコードは
メーカー管理用です。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書をお客さまににお渡しください。

●施工完了図



●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工終了後、正常に作動することを確認するとともに、お客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書はお客さまで保管頂くよう依頼してください。

用語の解説

注意 . . . 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ 注意

陶器は割れものです。
●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

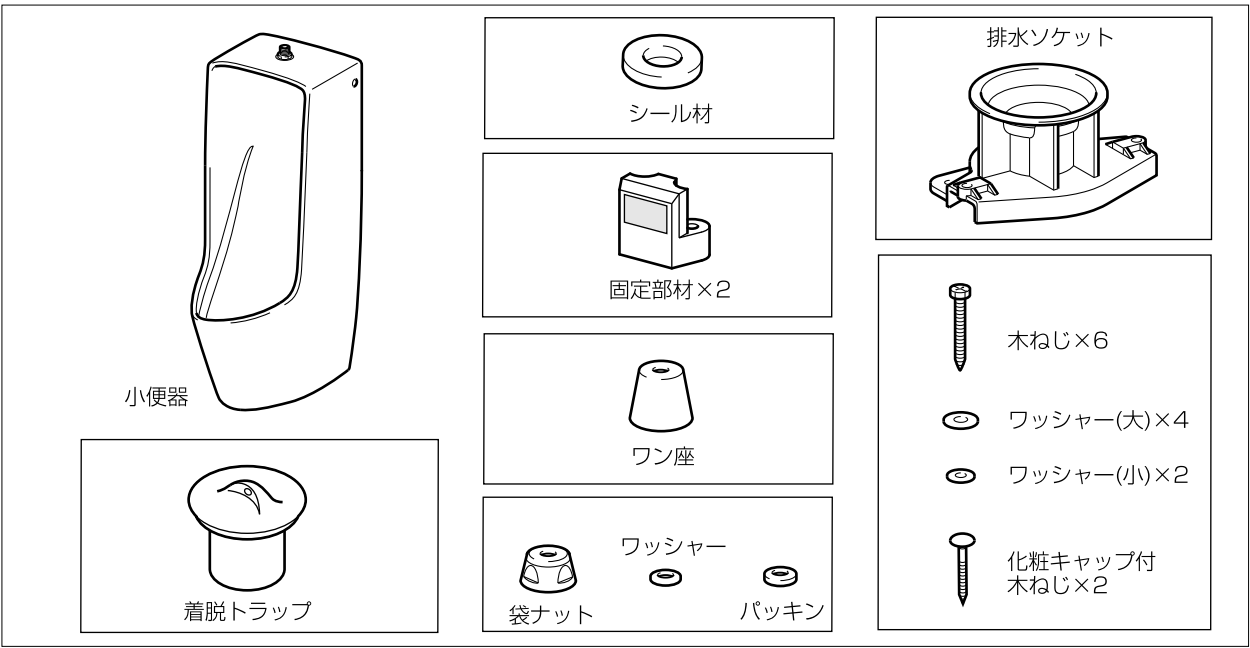
陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。

施工後に漏水検査を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

●施工前のご注意

- 最低必要水压 0.07MPa（流動時）（最高水压 0.75MPa（静止時））としてください。
※最低水压を下回ると十分な流量が確保されず、鉢洗浄ができなくなる場合があります。
※最高水压を上回ると故障の原因となります。
- 標準の排水芯（後壁から220mm）以外にも180mmに対応できますが、排水ソケットの設置方向が異なります。

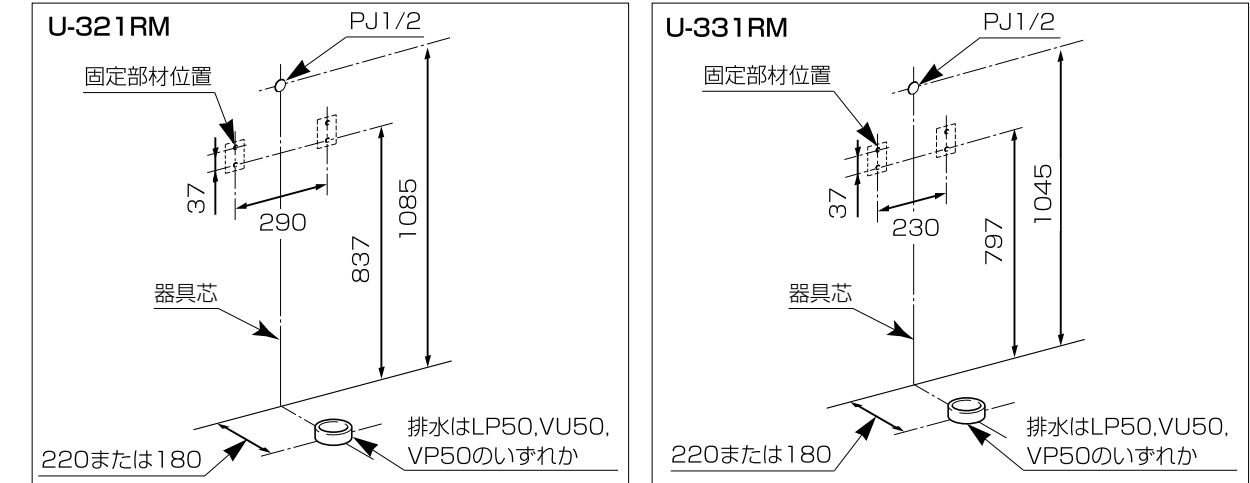
●部品の確認



●施工方法

1 給排水の位置決め、取出し

標準施工図に従って給水管・排水管を取り出してください。
※器具取り付け前に給水管、排水館内に異物が混入しないようにしてください。
※給水管にはプラグ（LF-7T）、排水管にはビニール袋等でカバーしてください。



2 床フランジ（別手配）の取付け

【金属製フランジ（鉛管用）の場合】

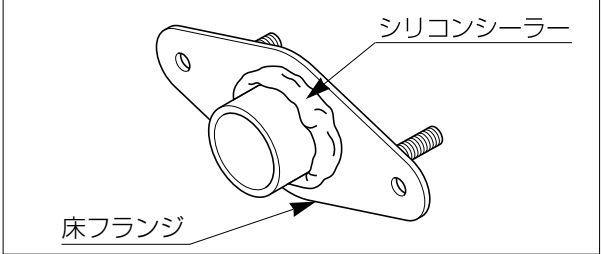
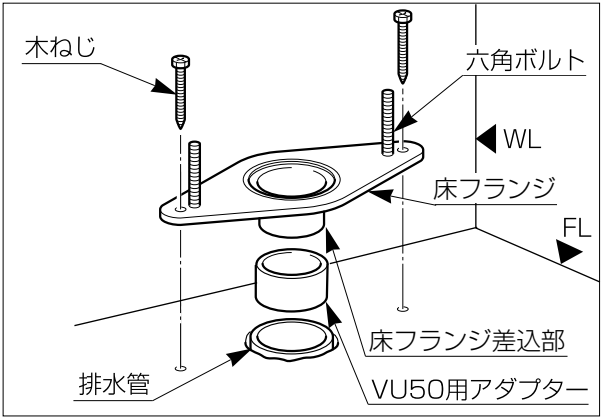
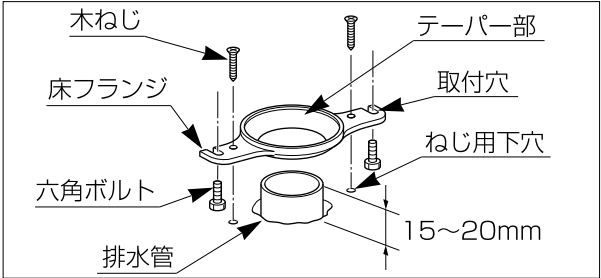
1. 排水管を床仕上げ面上15～20mm確保して切断します。
※床フランジの取付けは必ず床仕上げ面上に行ってください。
2. 床フランジのテーパ部が床の中に入るように排水 水管周囲をはづります。
3. 六角ボルトを床フランジの背面から通し、木ねじで床フランジを取り付けます。
※コンクリート床の場合はAYボルトAY-21（1P）2個を別途手配してください。
この場合、下穴（φ7.5、深さ45mm）をあらかじめ開けてください。
※2個の取付穴は後壁面と平行にしてください。
4. 排水管をテーパ面に沿って亀裂、破損させないようにツバ上げします。
※十分ツバ上げできない場合はシールが不完全になる恐れがありますので、床フランジと排水管のツバ部をハンダ付けしてください。

【樹脂製フランジ（塩ビ管用）の場合】

1. 塩ビ排水管を、床面と同一面になるように切断し ます。
2. 床フランジを塩ビ排水管に仮挿入して、ガタの有 無を確認してください。
※VU管の場合、あらかじめ塩ビ用接着剤で床フラ ンジにV50用アダプターをはめ込んでください。
3. 床フランジの背面から六角ボルトを通します。 ガタがある場合は床フランジ根元にφ10mm程度 の太さで全周にシリコンシーラーを塗布してくだ さい。ガタがない場合は床フランジ、および塩ビ 排水管の両方に塩ビ用接着剤を塗布してください。 シリコンシーラーまたは接着剤塗布後、床フラン ジを塩ビ排水管にしっかり押し込みます。
※シールおよび接着が不十分ですと、漏水、臭気 発生の原因となります。
4. 木ねじで床フランジを床に固定します。

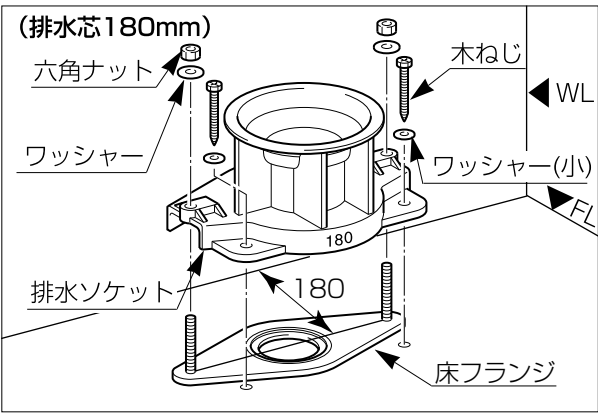
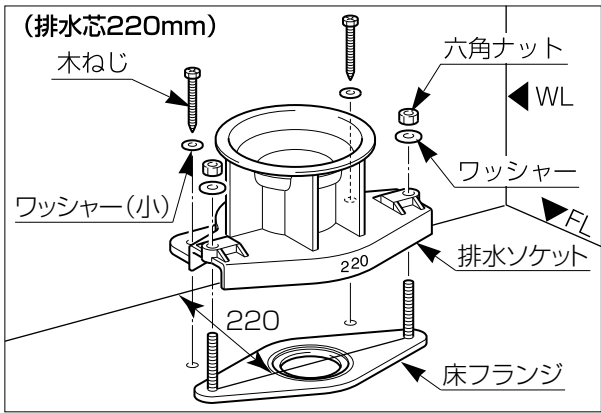
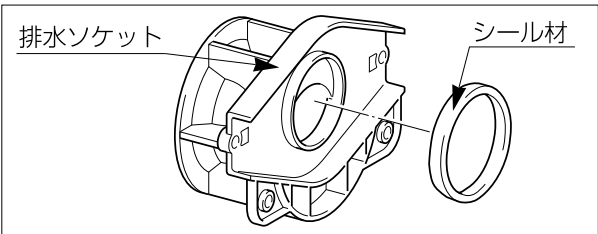
◆注意点

- 床フランジは床面に木ねじまたはAYボルトで確実に固定してください。
※固定が不完全な場合、十分なシール性が確保できず、漏水する恐れがあります。
- 塩ビ排水管の切断面は必ず床面と同一面になるようにしてください。
※切断面と床面を同一にしないと、十分なシール性が確保できず、漏水する恐れがあります。
- シリコンシーラーをご使用の際は、排水管内へシリコンのはみ出しがないか確認し、はみ出して いる場合、シリコンをふき取ってください。
※排水管内にシリコンがはみ出していると、排水不良につながる恐れがあります。
- シリコンシーラーは当社別売品（PBM-100G）もしくは市販品をご使用ください。
- コンクリート床の場合はAYボルトAY-21（1P）2個を別途手配してください。
この場合、下穴（φ7.5、深さ45mm）をあらかじめ開けてください。
- 2個の取り付け穴は後壁面と平行にしてください。



3 排水ソケットの取付け

- 排水ソケットの排水口に、床フランジ（別手配）に付属しているシール材を取り付けます。
※排水口周囲の汚れ、湿気を十分に取り除いてください。
※シール材は、排水ソケット底面および排水口側面にしっかり密着させてください。
- 排水芯が220mmの場合は220の刻印がある方、180mmの場合は180の刻印がある方を正面にして、床フランジのボルトを排水ソケットのボルト固定穴に通し、六角ナットと木ねじで排水ソケットを固定します。
※排水ソケットは必ず排水芯に合った方向で取り付けてください。
※床と排水ソケットのすき間がないようにナットを締め付け、接着を行ってください。
※接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。
※コンクリート床の場合はAYボルトAY-34（1P）2個を別途手配してください。
ワッシャーは同梱のワッシャー（小）をご使用ください。
この場合、下穴（φ11、深さ70mm）をあらかじめ開けてください。
※2個の取付穴は後壁面と平行にしてください。



4 固定部材の固定

【U-321RMの場合】

F.L.より837mmの高さで、器具芯から左右に145mmの位置に固定部材下側の穴を合わせて、固定部材1個につき、木ねじで2箇所固定します。

【U-331RMの場合】

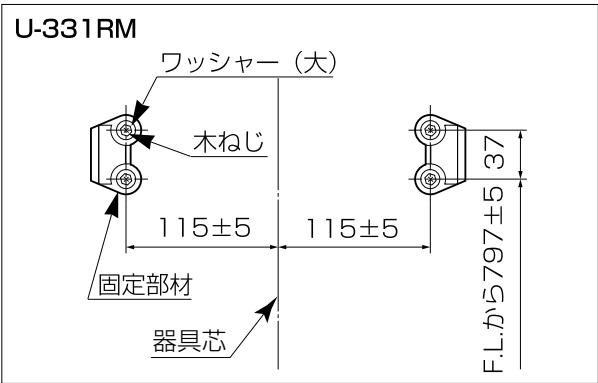
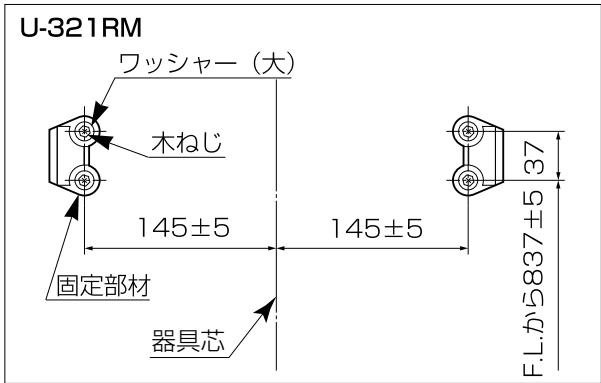
F.L.より797mmの高さで、器具芯から左右に115mmの位置に固定部材下側の穴を合わせて、固定部材1個につき、木ねじで2箇所固定します。

※2個の固定部材が水平になるようにしてください。

※コンクリート壁の場合はAYボルトAY-34（1P）4個を別途手配してください。

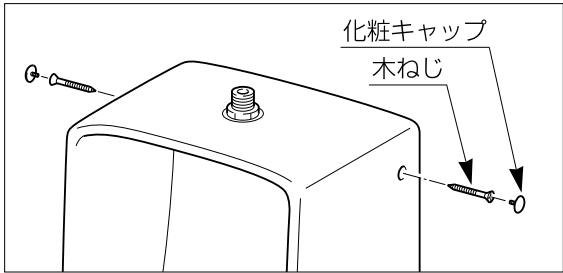
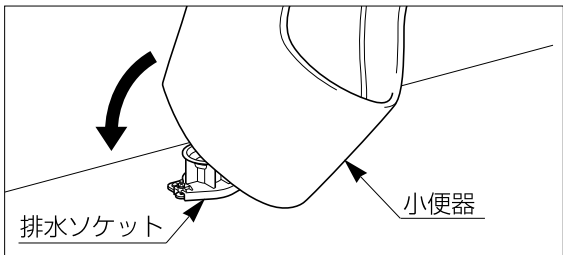
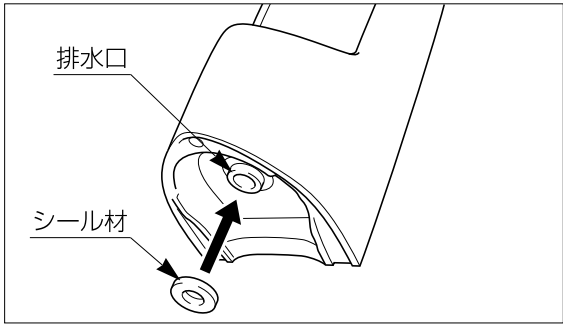
ワッシャーは同梱のワッシャー（大）をご使用ください。

この場合、下穴（φ11、深さ70mm）を開けてください。



5 シール材の取り付けおよび小便器の固定

- 小便器の排水口に本体同梱のシール材を取り付けます。
※排水口周囲の汚れ、湿気を十分に取り除いてください。
※シール材は排水口の底面および側壁にしっかり密着させてください。
しっかり密着させないと、十分なシール性が確保できず、漏水の原因になる恐れがあります。
- 排水ソケットが小便器中央にくるようにして手前から小便器をかぶせ、床とのガタがなくなるまで押さえ込みます。
※排水ソケットに小便器をかぶせる時に壁や床にキズをつけないようにしてください。
- 小便器の左右にある固定穴に木ねじを通して小便器を固定し、化粧キャップを取り付けます。
※陶器固定のねじは締めすぎないようにしてください。

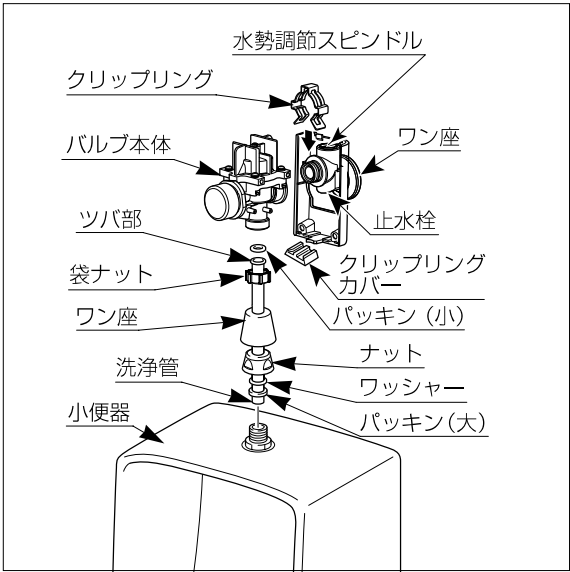


6 給水金具の取付け

給水金具に同梱されている施工説明書に従って、取り付けてください。
※本紙では、フラッシュバルブの場合の施工内容を図中に示します。

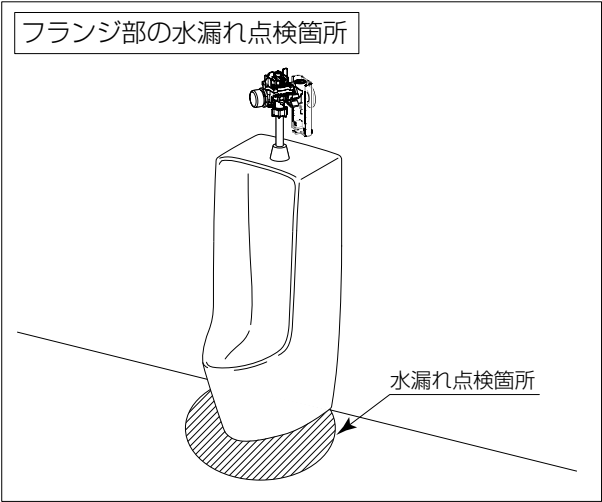
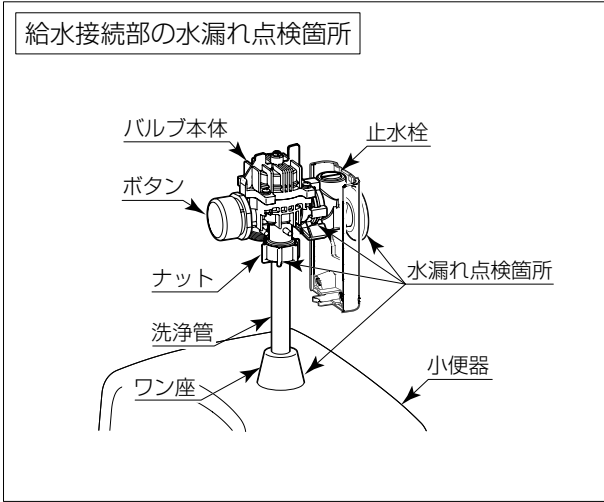
◆注意点

- 小便器に固定されているスプレッダーは外さないでください。
※スプレッダーの位置や向きが変わり、飛沫や洗浄不良の原因になります。
- ツバ部は絶対に切断しないでください。
※漏水の原因になります。
- 洗浄管の小便器への接続は現物合わせにて、差し込み代として10～20mm残して切断してください。
- パッキン(小)とパッキン(大)を付け間違えないようにしてください。



7 水漏れ点検

ボタン操作を数回行って、給水接続部やフランジ部に漏水がないことを確認します。



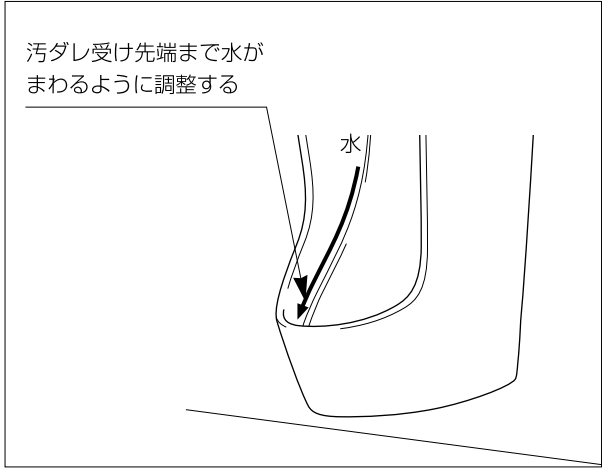
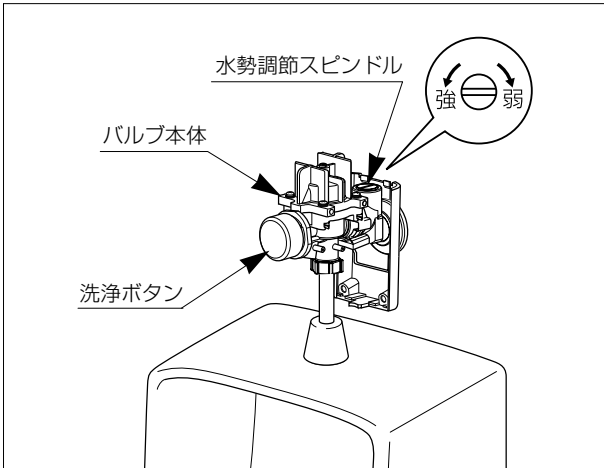
◆注意点

- フランジ部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。

8 水勢の調整

【フラッシュバルブの場合】

- フラッシュバルブの水勢調節スピンドルを全閉にします。
- 洗浄ボタンを押し、水を流しながら徐々に水勢調節スピンドルを開けていき、小便器の汚ダレ受け先端まで水がまわるように調整します。
(左に回すと水勢は強くなり、右に回すと水勢は弱くなります。)



◆注意点

- 水勢が強すぎますと、洗浄飛沫が多く発生したり、洗浄水が鉢外へ飛び出す恐れがあります。

【小便器自動洗浄システムの場合】

洗浄モードの設定

スーパーAI節水モードに設定してください。

◆注意点

- 設定の方法は、小便器自動洗浄システムの取扱説明書に従って設定してください。

水勢の調整

センサーの緑色ランプ（流量表示ランプ）が点灯の状態に調整してください。

◆注意点

- 調整の方法は、小便器自動洗浄システムの取扱説明書に従って調整してください。
- AI節水モード、固定モードで 사용되는場合は「フラッシュバルブの場合」と同様の調整をおこなってください。
この時、緑色ランプ（流量表示ランプ）が点滅の状態になる事がありますが、異常ではありません。
- 水勢が強すぎますと、洗浄飛沫が多く発生する場合があります。

9 カバーの取付け

給水金具に同梱されている施工説明書に従って、カバーを取り付けてください。

